

奈良県の農産物は何かな

奈良県の主な農産物



イチゴ

てんりし やまとこおりやまし ならし ほか
(天理市、大和郡山市、奈良市他)

しょくみ よ さいばい けんいくせいひんしゅ
食味が良く栽培しやすい、県育成品種
“アスカルビー”をはじめ、“古都華”など
が栽培されています。



ナス

ごじょうし こうりょうちょう てんりし
(五條市、広陵町、天理市)

かしゅう き ろじさいばい とうしゅん き さい
夏秋期の露地栽培と冬春期のハウス栽培
が行われています。露地栽培での単
位面積当たり収量は全国でもトップクラ
スです。



トマト

てんりし ごじょうし やまとこおりやまし うたし そにむら
(天理市、五條市、大和郡山市、宇陀市、曽爾村)

りょう そくせい はんそくせいさいばい あめ
ハウスを利用した促成・半促成栽培と雨
よけ夏秋栽培に大別されます。糖度の高
い完熟系などの品種が導入されていま
す。



カキ

ごじょう よしのちいき てんりし ごせし
(五條・吉野地域、天理市、御所市)

おも ひんしゅ とねわせい ひらたねし
主な品種は“刀根早生”、“平核
無”、“松本早生富有”、“富有”
です。香港などにも輸出してい
ます。



ウメ

ごじょう よしの ちいき
(五條・吉野地域)

しじょうしゅつか ほか かこうぎょうしゃむ
市場出荷の他、加工業者向けに
も出荷され、梅酒、梅ジュース、
梅干し、梅エキス用などに加工
されています。



ブドウ

へぐりちょう かわいちょう
(平群町、河合町)

おも ひんしゅ きよ
主な品種は“デラウェア”、“巨
峰”。また、近年、直売向けの品
種で“シャインマスカット”の栽培
が増えつつあります。

大和野菜

「大和の伝統野菜」(20品目)
戦前から生産されている品目で、地域の歴史・文化を受け継いだ独特の栽培方法等によ
り、「味、香り、形態、来歴」などに特徴を持ちます。

「大和のこだわり野菜」(5品目)
栄養やおいしさを増した野菜、本県オリジナル野菜など。
栽培や収穫出荷に手間をかけています。



大和の伝統野菜



大和まな



大和のこだわり野菜

大和茶

ならし やまぞえむら うたし おおよどちょう ひがしよしのむら
(奈良市、山添村、宇陀市、大淀町、東吉野村)

「大和茶」は、冷涼な気候の下で栽培され、良質な煎茶やかぶせ茶が生産されています。最近
は食品加工用てん茶の需要増加に伴い、てん茶の生産量が増えてきています。



大和高原に広がる造成茶園。防霜扇が整備された緩傾斜地に
みどりしまもよう ひろ どくとく けいせん けいせい
緑の縞模様が広がり独特の景観を形成しています。